

### 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	52	コロナ禍の中、遠方・園庭への外出は行えていない。人員不足、コロナ禍との心理的行動制限等があり積極的に、園庭に出て過ごすことが出来ていない。入居者様の気分転換、肌で四季を感じていただくようなことに制限がかかっている。	入居者様全員(寝たきりの方)1人/日は園庭に出て四季の移り変わりを感じて頂く。	お一人お一人のペースに合わせて、外出の時間(短時間でも)を設け、少しでも四季の移り変わり肌をで感じて頂き気分転換を行うとともに、日光を浴びる事により体内時計、骨粗鬆症予防に寄与出来るように取り組んでいく。	1ヶ月
2	35	災害対策の訓練は、消防避難訓練を行ってきたが、コロナ禍で消防訓練が行えていない。台風時等においては、施設ハード面の災害の防止に向けて準備をすることが出来ていると思われるが、避難行動については、出来ていない。本当に災害になった場合身体が動くか現在の課題と感じる。	消防 防災訓練が行えるようになれば実情にあった訓練を行う。現在においては机上、園内で行える高い意識付けが出来る様に月に一度研修会を行っていく。	現在の自然環境の中でいつ何時災害が起きるかは分からない。コロナ禍といえども猶予ない。常日頃より災害になった場合身体が自然に動くように意識を高めておく必要がある。毎月行っている定例会の中で災害に対する意識付けが出来る項目を行っていく。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。